

獣人特区という
獣人が沢山住んでいる
街に暮らしているが

あくまで仕事のため
特に獣人が好きと
いう訳では無いのだ

君じゃなきゃ
ダメみたい

ごく普通の人間だ

隣に住んでいる獣人の犬山さん
いつも夕飯に誘ってくれるが

これは発情期の性欲を解消
するための交尾のお誘いだ

また夕飯を作り
過ぎてしまつて

良かったらうちに
食べに来ませんか？

獣人には発情期があり
周期的に抑えきれない
性衝動に悩まされるらしい

そして人間と獣人の
間に子供は産まれない

快樂だけ求め合う
生産性の無い行為

とても都合が良い

正直獣人が好きな
訳じゃ無いのだが

お互いノーリスクな
性欲解消法として

犬山さんは僕を
利用しているのだ

だけど





最近このモフモフが

この声が

たまらなく可愛い

僕は決して
獣人愛好者じゃ無いが

どうやら僕は

犬山さんともっと
こうしていたい

どうしようもなく

どうやら僕は彼女に
心も胃袋も下半身までも
掴まれてしまったようだ

犬山さんも人間の
僕に興味は無いだろう

僕を愛しては
くれないだろう

はぁっ
はぁっ
はぁっ

はぁっ

はぁっ

はぁっ

そう思うと
切なくなつて

ついに聞いて
しまった

発情期……？

無いですよ？
そんなの

え？

ごめんなさい
お互い好意が
あるのかと

お

お

お

何度も抱いてくれる
からあたし勘違い
しちゃいましたね

そうですよね
人間と獣人です
ものね……

獣人とか人間とか
そんなのもう
どうでもいい

僕はもう

君じやなきや
ダメみたい

……
♡

はぁっ
はぁっ
はぁっ